

問1 江戸時代の産業の結びつきについて述べた次の文のうち、当時の肥料の流通と農業の状況を正しく説明しているものはどれですか。（2022年 滋賀公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---------------------------------------|--|--|
| 1. 九十九里浜などで加工された干鰯が、綿花の栽培を支えるために近畿地方へ運ばれた。 | 2. 石包丁を用いた収穫効率の向上により、肥料を購入する必要がなくなった。 | 3. 産業革命による化学肥料の導入で、イワシを肥料として使う習慣が途絶えた。 | 4. 二毛作の普及により、山林から採取した堆肥だけで全ての肥料需要を賄った。 |
|--|---------------------------------------|--|--|

問2 江戸幕府の第3代将軍である徳川家光が「武家諸法度」を改定して制度化した、諸大名に対して1年おきに江戸と自らの領地を往復することを義務付けた制度は何か。（2022年 三重公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|-------------|--------|-----------|
| 1. 参勤交代 | 2. 禁中並公家諸法度 | 3. 鎖国令 | 4. 寄親・寄子制 |
|---------|-------------|--------|-----------|

問3 アメリカの第16代大統領リンカンに関連する記述として、最も適切なものはどれか。（2018年 北海道公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| 1. ゲティスバーグで「人民の、人民による、人民のための政治」と演説した。 | 2. 独立戦争を指揮し、アメリカ合衆国の初代大統領となった。 | 3. 世界恐慌に対応するため、ニューディール政策を実施した。 | 4. 第一次世界大戦後のパリ講和会議で国際連盟の設立を提案した。 |
|---------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|

問4 江戸時代、幕府や藩が商工業者の組織である「株仲間」を公認する政策をとった主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 長崎公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 特定の商人に営業の独占権を与える代わりに、運上金や冥加金などの税を徴収して収入を増やすため。 | 2. 商人の不正な取引を監視することで、物価の急激な上昇を防ぎ庶民の生活を安定させるため。 | 3. 商人に苗字帯刀を許可する代わりに、凶作の際に領民へ配るための米を供出させるため。 | 4. 外国との貿易を組織的に管理させ、キリスト教の流入を厳しく制限するため。 |
|---|---|---|--|

問5 江戸時代、杉田玄白らによって行われた『解体新書』の出版に関する説明として、当時の社会や学問に与えた影響をふまえた記述として最も適切なものを選びなさい。（2019年 福島県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. オランダ語の医学書を日本語に翻訳して出版したことで、西洋の科学的な知識を学ぶ蘭学が本格的に普及するきっかけとなった。 | 2. キリスト教の布教を目的とした西洋の思想を日本語で紹介したため、幕府による禁教政策がさらに強化される原因となった。 | 3. 日本の古典を研究して日本独自の精神を明らかにしようとする国学の発展に大きく寄与し、尊王攘夷運動の理論的支柱となった。 | 4. 西洋の進んだ軍事技術を紹介する目的で出版されたため、幕府による全国的な海岸警備や軍制改革の実施を促すことになった。 |
|---|---|---|--|

問6 江戸時代の中期から後期にかけて、幕府の経済政策は時期によって大きく方針が異なりました。老中・田沼意次が進めた経済政策と、その後に松平定信が行った「寛政の改革」の背景や内容を説明した文として、適切なものはどれですか。（2022年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 田沼意次は商人による株仲間の結成を奨励して税を徴収しようとしたが、松平定信は朱子学を重んじて武士の規律を正し、農村の立て直しを優先した | 2. 田沼意次は公事方御定書を定めて裁判制度を整えたが、松平定信は目安箱を設置して広く民衆の意見を取り入れることを重視した | 3. 田沼意次は質素倹約を徹底して幕府の支出を抑えようとしたが、松平定信は株仲間を積極的に活用して新田開発などの公共事業を推進した | 4. 田沼意次は朱子学以外の講義を禁じて思想統制を強めたが、松平定信は外国との交易を広げるために株仲間を解散させた |
|--|---|---|---|

問7 江戸時代の商業の中心地であった大阪の状況について、諸藩が設置した蔵屋敷に全国から年貢米や特産物が集まり、それらが再び全国へ送り出されていたことから、当時の大阪は何と呼ばれていましたか。（2024年 岡山公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|-----------|---------|----------|
| 1. 天下の台所 | 2. 将軍のお膝元 | 3. 学問の都 | 4. 世界の工場 |
|----------|-----------|---------|----------|

問8 江戸時代に急速に普及した教育機関である「寺子屋」が、当時の社会において果たした役割や特徴を説明したものとして、最も適切な内容を選びなさい。（2020年 新潟県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 武士の子弟を対象として、儒学や武芸などの専門的な知識を授けるための公的な教育機関であった。 | 2. 国ごとに設置され、律令制度を維持するための地方官吏を養成することを目的とした組織であった。 | 3. 都市や農村の庶民の子供を対象として、読み・書き・そろばんといった実益的な知識を教えた。 | 4. 寺院において僧侶が貴族の子弟を預かり、高度な仏教の教理や漢詩の作成を指導する私塾であった。 |
|--|--|--|--|